

育 Me 科 学習指導案 「敬語で話しましょう」

○ねらい

目上の人に対しての適切な言葉遣いを身に付け、日常的に使えるようにする。

	活動内容	進め方・支援	育 Me 科の視点		
導入	<p>1 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育 Me 科の学習目的を簡単に確認する。 <p>2 学習内容の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師によるモデリング(A:地域の方 B:生徒) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>〈1回目〉</p> <p>A:「今日も学校は楽しかったか？」</p> <p>B:「うん、楽しかったよ。」</p> <p>A:「今日は何をしたの？」</p> <p>B:「体育でバレーボールしたよ。」</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>〈2回目〉</p> <p>A:「今日も学校は楽しかったか？」</p> <p>B:「はい、楽しかったです。」</p> <p>A:「今日は何をしたの？」</p> <p>B:「体育でバレーボールをしました。」</p> </td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな違いがあるか確認をする。 ・なぜ相手に合わせた言葉遣いをする必要があるのか確認をする。 <p>3 本時のめあての掲示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>場面や相手に合わせて適切な言葉遣いで話そう。</p> </div>	<p>〈1回目〉</p> <p>A:「今日も学校は楽しかったか？」</p> <p>B:「うん、楽しかったよ。」</p> <p>A:「今日は何をしたの？」</p> <p>B:「体育でバレーボールしたよ。」</p>	<p>〈2回目〉</p> <p>A:「今日も学校は楽しかったか？」</p> <p>B:「はい、楽しかったです。」</p> <p>A:「今日は何をしたの？」</p> <p>B:「体育でバレーボールをしました。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師2人でモデリングをする。児童が役割をわかるように、首から札を下げる。 ・相手に合わせた言葉遣い、敬語を使うことが本時のポイントと理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデリングは必ず良い見本を見せ、どんなことができるようになればよいかイメージ児童に作らせる。
<p>〈1回目〉</p> <p>A:「今日も学校は楽しかったか？」</p> <p>B:「うん、楽しかったよ。」</p> <p>A:「今日は何をしたの？」</p> <p>B:「体育でバレーボールしたよ。」</p>	<p>〈2回目〉</p> <p>A:「今日も学校は楽しかったか？」</p> <p>B:「はい、楽しかったです。」</p> <p>A:「今日は何をしたの？」</p> <p>B:「体育でバレーボールをしました。」</p>				
展開	<p>4 活動1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の例文を敬語に変えながら、敬語の使い方を確認する。 <p>5 グループ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3人組(A:児童 B:教師、客など C:評価者)で役割を設定し、場面設定に従ってロールプレイを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【場面1】理科担当の先生(担任とは別に)に次の授業の内容を尋ねる。</p> <p>【場面2】来校されたお客さんに、音楽室の場所を説明する。</p> <p>【場面3】校長先生に好きな給食についてインタビューをする</p> </div> <p>6 全体交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数人の児童に【場面1】～【場面3】の実演をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド資料を使う。 ・AとBがロールプレイをした後に、Cは評価をする。 ・うまく伝えられなかった時は、グループ全員でどんなふうに伝えるとよいか確認する。 ・ロールプレイをする際には、誰がどの役割をしているか児童が把握できるように首から札を下げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Aが嫌な思いをしないように優しい伝え方で評価できるとよい。 ・Cは何が良かったのか、何を改善する必要があるのか伝えられると良い。 ・敬語を使うだけでなく、会釈をするなど所作も意識させたい。 		
まとめ	<p>7 ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートに記入させる。 ・自分が生活している姿を振り返り、どんな場面で敬語を使って話せるとよいか考えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【出口での児童の姿】</p> <p>「私は授業の中で、先生に友達のように話しているけど、敬語を使って先生と話せるようにしたい。」</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・特に受け手の立場での感じ方の違いを押さえる。 			